

## おとなも子どもも地域も育ちあう

一生懸命だからって  
子育てがうまくいくとは限らない  
子育てがうまくいってないからって  
一生懸命じゃないとは限らない

誰もが試行錯誤しながら  
少しずつ親になっていくのだから  
温かい見守りのまなざしに包まれて  
おおらかに ゆったりと  
親子が育ちあっていけますように

活動エリア：兵庫県川西市を中心に

団体規模（2022年7月現在）

正会員：30人1団体

賛助会員：23人1団体

ボランティア登録：17人

事務局：4名

川西市受託事業地域子育て支援拠点雇用スタッフ：10人

予算規模：750万程度



2011年 5人で任意団体を立ち上げ

2014年 NPO法人化

2015年～ ひょうご子育てコミュニティ幹事

2019年 兵庫県子育てほっとステーション「ブーケのおうち」開設  
（～2021）

2019年～ 川西市アステ市民プラザ子育て支援ルーム運営受託

2020年 兵庫県「くすのき賞」受賞

2022年～ 川西市子ども・若者未来会議委員受嘱

# 申請事業について

～2021年度ドコモ市民活動団体助成事業～

## “コロナ禍における親の「孤育ち」実態および子育て支援に対するニーズの変化”に関する実態調査

〈期 間〉 2021年9月～11月

〈目 的〉 コロナ禍における子育て家庭の実態、コロナ禍が親子に及ぼしている影響を子育て当事者、子育て支援者双方を対象とした調査を通して明らかにする。また、そこから、このコロナ禍によって生じた支援ニーズの変化 を探りつつ、今後有効な子育て支援のあり方を考察・提起する。

〈対象・回答者〉

調査Ⅰ 兵庫県在住3歳未満までの乳幼児を育てる保護者 **28市町447名**

調査Ⅱ 兵庫県41市町の「地域子育て支援拠点事業所」もしくは「利用者支援事業所（基本型）」 **34市町145か所**

調査Ⅲ 兵庫県41市町「地域子育て支援拠点事業」もしくは「利用者支援事業基本型」担当職員 **33市町293名**

調査Ⅳ 兵庫県41市町「乳児全戸家庭訪問」担当訪問員 **24市町42名**



## 〇コロナ禍での子育ての実態

- ・社会に出る活動に制約、家族間の距離の狭まり、そのストレスを解消し難い状況
- ・子育ての学びの機会の減少・消失→親の「孤育ち」深刻化（自信のなさ）
- ・「就業状況」や「居住地域」によってコロナ禍の影響の受け止め方に差異がみられる項目（側面・ニーズなど）もあった
- ・コロナ禍の長期化→葛藤→ストレスや疲弊感の増大→これまで以上の「子育ての困難」が現出している

## 〇コロナ禍での子育て支援

- ・日常的な閉塞感を緩和する（感染の心配のない）安全な居場所（＝小さな集まり）  
※「場を開いていること」→「気持ちの切り替え」「ストレスケア」に意義
- ・相談（傾聴）の受け皿
- ・子育てを学ぶ機会／親が親として育つ機会  
※コロナ以降の出産→「育児について知らないことが多い」「不安が強い」保護者がいるという認識が必要
- ・タイムリーな支援を実施するために、子どもの発達に関するアセスメントの機会を工夫する必要
- ・訪問等アウトリーチやSNSの活用など幅広い手法の工夫による情報提供

## 〈今後に向けて〉

「子育て家庭への多様なアプローチ（支援の入口の質的・量的拡大）」および  
「親のニーズに個別的に寄り添う支援」



○現在の支援の形を「**ニュースタンダード（新たな標準）**」として受け入れ定着させていく

※「場」の機能の変化した部分（例えば、これまでのように交流が十分に行えない状況によりピアサポートや学びの場といった機能は弱まっているが、ストレスケア、レスパイトケアの場としての機能にニーズの高まりがあること。子どもの体験の場としての機能の充実など。）も認識しておく

○「**支援との接点づくり**」に重点を置く

＜時間的接点＞ 早期から→産前からのアプローチを視野に

＜空間的接点＞ 多様な糸口、入口

→“日常的に身近に点在するもの”と“ワンストップのもの”との両輪

○「**SOSを拾いに行く**」アプローチの検討

→家庭訪問型子育て支援など

調査報告書は、  
当法人HP活動紹介ページからダウンロードできます

<http://bouquet-npo.com/infomation/>



## ■ 課題意識→実践→共感・理解→取組みの広がり→課題解消

活動を共にすることを積み重ねて「ブーケイズム」への共感を広げていく  
地域子育て支援の意義への理解を深めてもらう

- ・実績を積み、何を考えている団体かを知ってもらう
- ・活動を通して多様な関わりを生むことを意識する
- ・補助金、助成金事業を活用する
- ・ネットワークに参画する



「親子で遊ぼうDAY」毎月2回 \* 川西児童館協働事業



まちの子育てひろば「よちよちブーケ」  
毎月1回

- \* 川西市市民活動センター
- \* 川西市社会福祉協議会

# 多様な主体の関わりを生む舞台としてのイベントづくり



## 「ファミリーハロウィン☆ブーケ」 (2015～2019)

- \* 近隣の商業施設、企業
- \* 親子活動サークル
- \* 起業ママ \* 地域のボランティア

# 自治体や他団体との連携・協働（実施事業）

## 川西市地域子育て支援拠点運営事業受託（2019年～現在2期目）

### 「アステ市民プラザ子育て支援ルーム」

月曜日～日曜日（第3金・年末年始）

\* 川西市こども支援課



- \* 川西市子育て支援拠点連絡会
- \* こども支援課所管3拠点ミーティング



パパひろば 毎月1回



親子すくすくセミナー  
年2～4回



ベビーママ&プレママルーム  
毎月1回

## ■ 連携・協働～時間と手間～

- 認知されること
- 信頼、安心していただける団体になること
- 持てる力は惜しみなく
  - ・現場起点の課題意識と活動の積み重ね
  - ・多様な立場の方とのコミュニケーション
  - ・パートナーのニーズ・領域・文化を理解しようとする努力
  - ・自団体の拡大だけによらないミッション達成
  - ・支援を点から面に「all川西・all兵庫・all日本」の視点



「ひょうご子育てコミュニティ」「こども・若者未来会議」

\* 兵庫県の行政・NPO・大学・企業



\* 川西市教育委員会



「かわにし子育てフェスティバル」

\* 市内各子育てに関わる機関



## ■ 補助期間終了後の自立という課題



兵庫県子育てほっとステーション  
「ブーケのおうち」(2019～2021年度)

空き店舗を利用した親子の居場所



事業を維持するための固定費を安定的に捻出できるビジネスモデルできず。補助期限と同時に手放す決断。

# 助成期間終了後の取組みについて

## ■ 産前産後期支援の重点化と支援の入口の裾野を広げる取組み



### 「ハローベビーコンサート by Team Hello Baby」



\* 市内子育て支援拠点職員の  
個人的な参画を通した  
インフォーマルな連携

今後の展開に期待

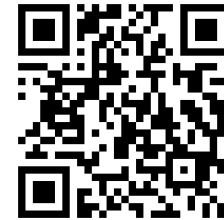
ありがとうございました。



Instagram  
bouquet\_home



HP  
<http://bouquet-npo.com>



Facebook

